

2025 年度 授業コード：12104500

授業科目	国際経済入門（オンデマンド）					実務家教員担当科目	－				
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	池口 功晃										
授業概要	貿易、地域統合、外国為替、国際金融、国際通貨、貧困問題、環境問題など、国際経済およびその諸問題について主要な論点を学びます。										
授業形態	オンデマンド授業				授業方法	Classroom を活用し、動画の配信およびレポート提出等を行う。					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 国際貿易の役割、国際収支の読み方、貿易政策・自由貿易協定(FTA 並びに日本の EPA)をめぐる問題を説明できる。 2. 外国為替相場を決定する要因、相場の変動が国内経済に与える影響を説明できる。 3. 通貨危機・金融危機がどのように発生するのか、日本にどのような影響を与えるのか説明できる。 4. 途上国の貧困問題や環境問題を説明できる。 国際経済に関する基本的な知識を身に付け、説明することができる。										
理想的レベル	国際経済に関するさまざまな新聞・雑誌記事を理解できるようになる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）			備考					
試験			0								
小テスト			0								
レポート			100%								
発表（口頭、プレゼンテーション）			0								
レポート外の提出物			0								
その他			0								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	－	ナンバリング	EN21306J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
該当部分の復習										4	
授業計画											
第 1 回	授業ガイダンス、国際経済とは何か										
第 2 回	貿易理論・世界と日本の貿易										
第 3 回	財政政策・金融政策										
第 4 回	貿易政策、世界の貿易体制、FTA										
第 5 回	地域統合、APEC										
第 6 回	閉鎖マクロ経済モデル										
第 7 回	開放マクロ経済モデル（基礎）										
第 8 回	開放マクロ経済モデル（応用）										
第 9 回	為替レート決定										

2025 年度 授業コード：12104500

第 10 回	国際通貨、金本位制、ブレトンウッズ体制
第 11 回	経済発展と経済開発、GDP 指標の限界
第 12 回	多国籍企業
第 13 回	世界の貧困問題と ODA
第 14 回	地球環境問題と経済学
第 15 回	総まとめ
テキスト	毎回、講義レジュメを配付します。
参考図書・ 教材／デー タベース・ 雑誌等の紹 介	多和田眞（2010）『コンパクト国際経済学』（新世社） 阿部顕三・遠藤正寛（2012）『国際経済学』（有斐閣）
課題に対す るフィード バックの方 法	ミニレポートは採点后、返却する。
学生へのメ ッセージ・ コメント	経済学の入門レベルの講義を履修しておくことが望ましいですが、授業を通して講義に必要な知識 を随時復習していきます。 普段から経済記事や経済ニュースを意識するようにしてください。